



— 各校の学校運営方針 — 「地域とともにある学校をめざして」 (記:社教推進DC 木村)

「鱈コミNo.1」でもお伝えしましたが、学校運営協議会設立会議(7/16)において、各校長先生より、令和2年度学校運営方針の説明をいただいたところです。今号では、具体的にその内容についてお知らせします。

令和2年度 学校運営の方針 《西海小学校》

I 基本方針

今年度から学校運営協議会制度を取り入れたコミュニティ・スクールとなった西海小学校は、地域とともにある学校として「ふるさとに愛着をもち、未来を展望する」児童の育成に取り組んでいきたい。



II 学校教育目標

すべては子供の弾む笑顔のために～笑顔弾む西海小学校～

学校は、児童にとってしょうぶな体で友達と学び交わる場所であり、楽しみで待ち遠しい場所であらなければならない。生き生きとした弾む笑顔があふれる西海小学校にするために、次の目標を設定する。 1 すずんで学ぶ子 2 思いやる子 3 たくましい子

教育目標実現のため本年度は次の努力目標を設定する

- 1 いろいろな課題に向かって挑戦し、あきらめずに学ぶことができる。
- 2 自分や友達を思いやり、仲良く助け合うことができる。
- 3 楽しんで運動に取り組み、健康で安全な生活を送ることができる。

令和2年度 学校運営の方針 《舞戸小学校》

I はじめに コミュニティ・スクールの導入

舞戸小学校は、「ふるさとを誇りに思う」子どもを育てるために、地域住民・保護者に様々な情報提供を行い、地域住民・保護者からの意見を生かした学校運営をすると共に、地域の教育力を生かした学習や地域に役立つ活動や地域との交流活動に取り組む。そのため、社会と連携及び協働によって、教育の実現を図る学校をめざし、「社会に開かれた教育課程」を編成し実施する。



II こんな学校に 1 教育目標 ・学び合う子 ・助け合う子 ・きたえ合う子

- 2 努力目標・しっかりと聞くことができる子の育成 ・相手の気持ちを考えることができる子の育成 ・健やかな生活ができる子の育成

令和2年度 学校運営の方針 《鱈ヶ沢中学校》

I 教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく」

努力目標 明朗で、思いやりのある生徒 目標を持って、学習する生徒 健康で、忍耐力のある生徒



II 学校経営の方針

学校は、子供たちが夢や希望を持ち、その実現に向けて知識や技能を習得し、協働的な営みを通して、将来をたくましく生き抜く力を育む、いわゆる一つの社会である。我々教員の役割は、子供たちに安心・安全な学校生活を保障し、全教育活動を通じて知・徳・体を育むことにある。そのため、教育活動に創意工夫をこらし、「県の教育施策の方針」及び「町の教育基本方針」を踏まえながら「教育は人づくり」という視点に立って、それぞれの子供が持っている良さや可能性を見だし、それを最大限に伸ばし、一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう、心の結びつきを基調とした指導・支援に努めていく。

【西海小 森山校長】



【舞戸小 藤田校長】



【鱈ヶ沢中学校 三上校長】

